

籠ノ登山(2227m)・黒斑山(2404m) 登山報告

「雪山賛歌」発祥の地 鹿沢温泉

期 日 2012年10月14日～16日

参加者 石川誠他1名

行動 10/14日(日) 晴

横須賀5時発一関越～上信越道を經由し高峰高原9:20分着 車坂峠10:20発
高峰温泉10:30- 11:30水ノ登山-12:20東籠ノ登山12:45-兎平13:20

湯の丸高原林道を車坂峠に戻り高峰温泉ホテル泊

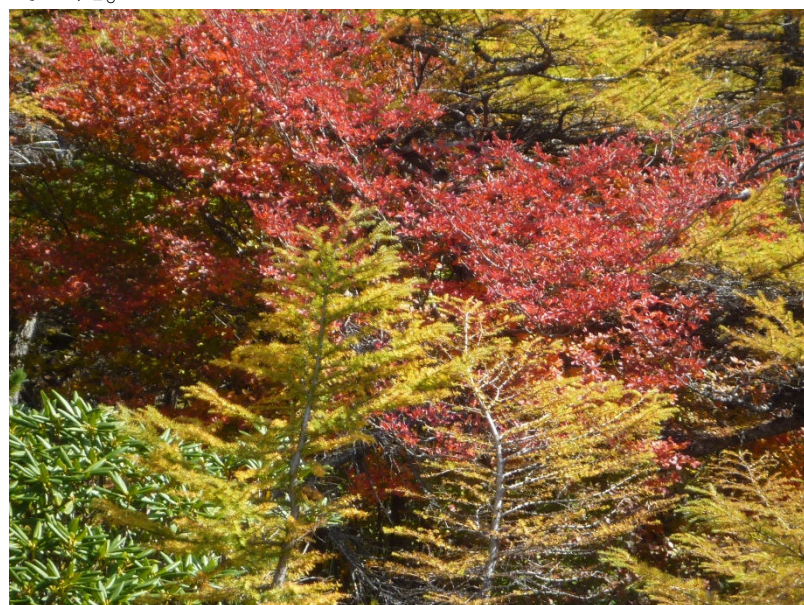
横須賀を朝5時出発 横々、環状8号線、関越、上信越道を經由して小諸ic～車坂峠へ

登山の仕度をして高峰温泉旅館前の登山口をウグイス展望台を經由して水ノ登山へここからの展望が良い、さらに赤ゾレというガレ場を經由し鞍部から東籠ノ登山へ鞍部からの下りが岩の重なる道で多少歩きにくかった。頂上からカラマツやコメツガの針葉樹林帯の登山道を兎平へ此处には池の平湿原があり、駐車場、トイレも完備している。

ここから湯の丸林道を1時間かけて今日の宿泊地である高峰温泉ホテルのある車坂峠に戻った。紅葉は始まっており、ドウダンツツジが赤に鮮やかに染まりカラマツなども黄色く色づんで来ていた。



「水ノ塔山(右)～籠ノ登山への稜線」



「紅葉が始まっていた」



10/15日(月)晴

車坂峠8:30発一トミの頭10:15通過し、10:45黒斑山(くろふやま)着11:05発11:35蛇骨岳
11:50-12:00仙人岳手前鞍部一時間の関係で蛇骨岳12:20通過-12:50黒斑岳13:05-
中コース經由し車坂峠14:20着15:00発-湯の丸林道經由し地蔵峠～鹿沢温泉真田旅館に

投宿する。

今日は目の前の登山口から黒斑山への表コースを辿る。針葉樹林体を抜けガレ場に出ると昨日登った水ノ登山、東麓ノ登山の稜線を望むことが出来た。浅間山の外輪山でもあり、途中には鉄製ドーム型のシェルターがあった。



「トーミの頭から浅間山」

経て、草すべりを登ってトーミの頭に周回する予定であったが、周回すると時間もかかり夕方4時5時近くになるので仙人岳まで歩を進めそこで判断した結果元来た道を黒斑山、トーミの頭へと戻り、下山は中コースを車坂峠に戻った。

このコースも一部ガレ場はあるが樹林帯の中に作られた良い登山道であった。峠からは砂利道の湯の丸高原林道を地蔵峠を經由し鹿沢温泉にある旅館に飛び込み宿泊した。

此処の温泉は源泉かけ流しで45度、丁度疲れが癒される良い温泉であった。

しばらくしてトーミの頭に到着する。ここからはすかに煙を上げている浅間山が真近に展望することが出来た。

ここから目の前のガレ場を急登して黒斑山の頂上へ到着する。常に右側に浅間山を眺めながらの稜線散歩となる。

当初は仙人岳～賽の河原を經由し火山館を



「湯の平から前掛山(2524m)を見る」

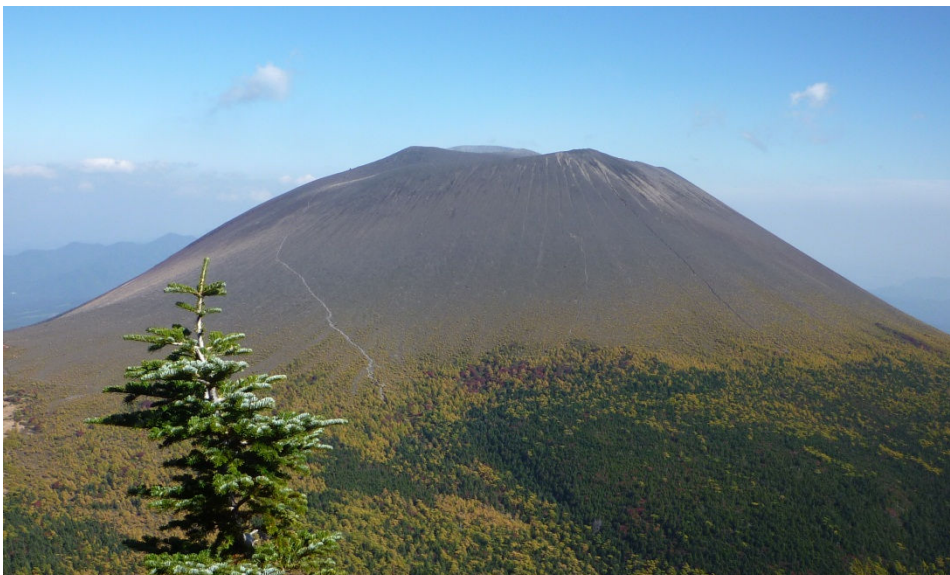
10/16日(火) 晴

旅館から万座鹿沢口
ー軽井沢～碓井軽井沢口
ー上信越道、藤岡經由関越
道練馬から帰横

旅館の目の前には四
阿山(アヅマヤサン)が姿良
く眺めることが出来た。

鹿沢温泉には初めて来
たが。古くからスキーの名
所として知られ、かの有名
な「雪山賛歌」は

京都大学山岳部の西堀
栄三郎氏など山岳部の
面々が豪雪で停滞した折



「快晴の中の浅間山」

に作詞したとのことで京大山岳部の人達がつくったとのことは知っていたがこの地で作られたことは初めて知ることが出来た。

記録 石川

孀恋村の文献を参考に載せておきます。

「雪山讃歌のおこり」

大正 15 年 1 月京都帝国大学の山岳部が鹿沢温泉でスキー合宿をされた。合宿が終わってから後に第 1 回南極越冬隊長をされた西堀栄三郎氏、京大カラコルム遠征隊長となった四手井綱



「左から蛇骨岳・仙人岳・鋸岳を望む」

彦氏、アフガニスタン遠征隊を勤めた酒戸弥二郎氏、並びに東大スキー部 OB で後にチャチャヌプリ遠征隊長をされた渡辺漸の 4 名にてスキーで新鹿沢へ下って宿泊されたが翌日天候が崩れ宿に閉じこめられた。

一行は、退屈まぎれに「山岳部の歌」を作ろうと言うことになり、曲をアメリカ民謡「いとしのクレメンタイン」としこれに合わせて皆で上の句、下の句と持ち寄って作り上げたものであると言う。

戦後京大山岳部員が当時の資料に記載されていたこの歌を寮歌に加え歌われ始めたのが急速に一般にも愛唱されるようになったが、作者不詳となっていたものを作詞の状況を知った、京大教授桑原武夫氏が作詞は西堀だと著作権の登録をされたもので、この印税は同山岳部の活動の大きな資金源となっていると言う。

「雪よ岩よ」で山を愛するものに親しまれているこの歌こそ粉雪舞う鹿沢温泉角間峠付近にピッタリで有り、その自然は今も昭和初期と全く変わっていないと思う。

今回地元でこれを記念し「雪山讃歌の碑」として、台字を西堀氏直筆にて鹿沢温泉に建立した。

昭和 57 年 4 月

群馬県吾妻郡孀恋村